

第8回食品産業もったいない大賞 事例発表会資料

もったいないをなくしたい

～食品リサイクル・ループ、食材提供、フードドライブの取り組み～



大阪いずみ市民生活協同組合
副理事長 松本 陽子



いずみ市民生協の概況

活動エリア

大阪府南部25市町村

世帯

135.1万世帯

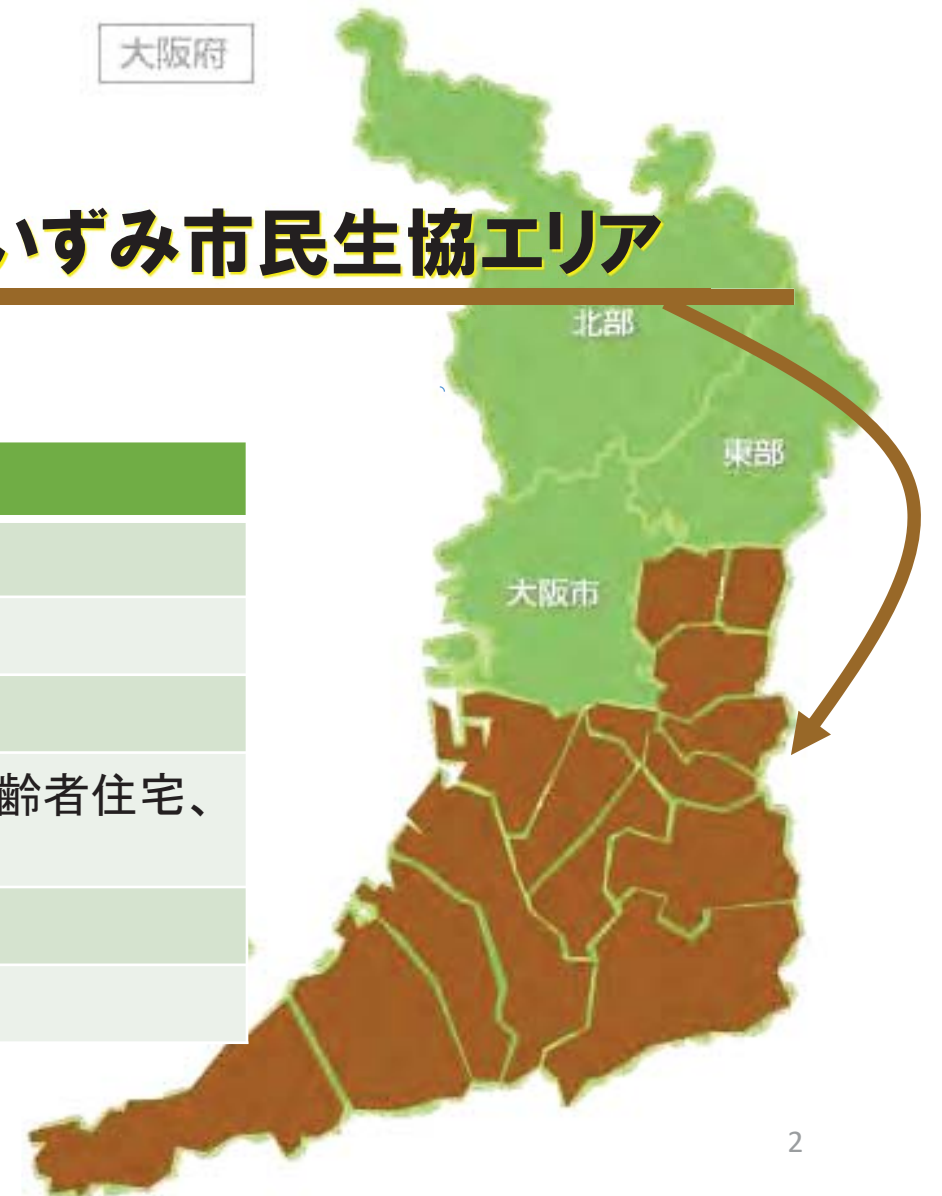
組合員世帯数

54.2万世帯(加入率40.1%)

主な事業	供給高	備考
宅配事業	578.6億円	宅配登録組合員 26.3万人
店舗事業	228.5億円	10店舗
エネルギー・通信事業	43.5億円	でんき、ガス、タブレットなど
福祉事業	14.1億円	有料老人ホーム、サービス付き高齢者住宅、グループホーム、在宅サービス
その他	...	
合計	936.6億円	

大阪府

いずみ市民生協エリア

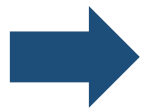


いずみ市民生協の環境政策

環境に配慮した持続可能な社会の実現をめざしています

①脱炭素社会

(温暖化の原因となるCO₂排出の削減)



省エネ設備への切り替え(LEDなど)
再生可能エネルギーの普及
(つくる・つかう・ひろげるとりくみ)

②循環型社会

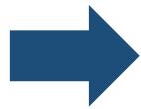
(資源の無駄のない活用)



分別によるゴミゼロのとりくみ
リサイクルの事業化
食品リサイクル・ループの構築
フードロスの削減(食材提供・フードドライブなど)

③自然共生社会

(生物の多様性の保護)



環境配慮商品の普及
産直産地の拡大
(現在93産地・185品目)
エリア内の河川や里山の生き物観察
(組合員活動)

食品リサイクル・ループについて

いずみ市民生協グループが協力して取り組みをすすめている



 株式会社 ハートコープ いずみ



特例子会社 (株)ハートコープいずみ 概要

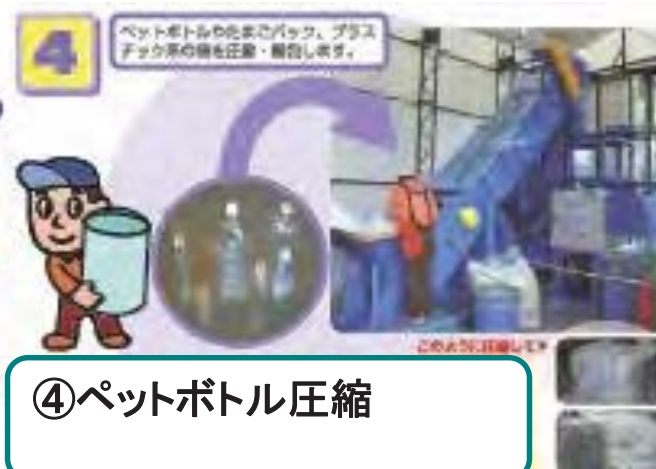
設立: 2010年7月

従業員数: 51人

(うち障がい者42人)

主な事業: リサイクル事業

食品残渣の再生利用事業



農業生産法人(株)いずみエコロジーファーム 概要

設立: 2010年6月

従業員数: 29人

(うち障がい者17人)

主な事業: 農産物の生産

検品・袋詰めなど

出荷額: 6,500万円



ノウフク
JASマークを取得



農地面積4ha ビニールハウス 66棟



就労継続支援A型事業所を
開設

食品リサイクル・ループ

いずみ市民生協 店舗
●農産物を販売



農産物の運搬

食品残渣の運搬



たい肥の運搬

農業生産法人
(株)いずみエコロジーファーム
●たい肥で農産物を生産・出荷



特例子会社
(株)ハートコープいずみ
●たい肥の生産

店舗での取り組みのようす



いずみ市民生協 10店舗

各店舗に商品を納品するトラックの帰り便で
食品残さを運搬



ハートコープいずみ たい肥化作業のようす



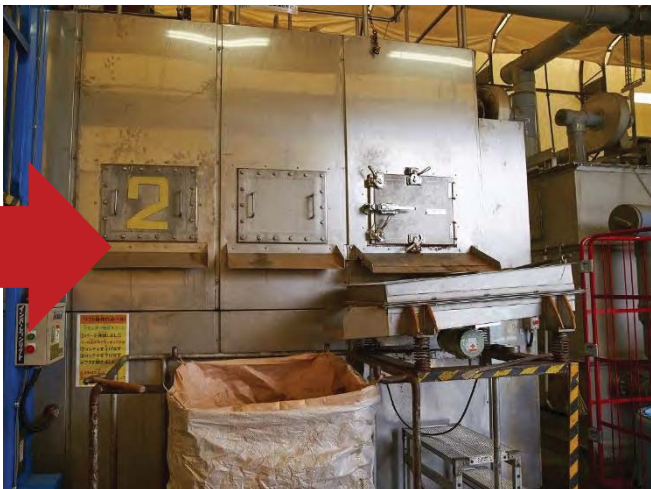
①店舗からの集まった食品残渣



②開封作業



③野菜は脱水・粉碎



④たい肥化装置に投入



⑤約3日後たい肥へ



⑥完成したたい肥

いずみエコロジーファームでの生産のようす



①たい肥を圃場に投入



②耕運



③農産物の生産



④冷蔵車で農産加工場へ



⑤検品・袋詰め



⑥出荷